

『線形代数学』 青木美穂・植田玲・庄司邦孝 共著

正誤表 第1版 第1刷 用

頁	行	誤	正
7	11	$= E_3$	$= E_2$
26	6	連立1次方程式 $A'\mathbf{x} = \mathbf{b}'$ はもとの連立1次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ と同値である.	連立1次方程式 $A'\mathbf{x} = \mathbf{b}'$ ともとの連立1次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ の解は等しい.
31	下3	常に偶 (奇) 数個の互換の積で表せることは例題 3.2 を見よ	常に偶 (奇) 数個の互換の積でしか表せないことは例題 3.2 を見よ
34	5	行列式の定義自体を上例 1, 2 のように実際に書くことはたいへんである. たとえば, $n = 50$ のとき, 50 次行列は書いても, 50 次行列式は具体的に書くことは不可能である.	高次の行列式の具体的表示を上例 3.1, 3.2 のように実際に書くことは大変である.
37	7	$= 51$	$= -51$
	下6	$\begin{vmatrix} a_{11} & 0 & \cdots & 0 \\ a_{21} & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \ddots & \ddots & \vdots \\ a_{n1} & a_{n2} & \cdots & a_{nn} \end{vmatrix}$	$\begin{vmatrix} a_{11} & 0 & \cdots & 0 \\ a_{21} & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ a_{n1} & a_{n2} & \cdots & a_{nn} \end{vmatrix}$
		$= \begin{vmatrix} a_{11} & a_{12} & \cdots & a_{1n} \\ 0 & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \ddots & \ddots & \vdots \\ 0 & a_{n2} & \cdots & a_{nn} \end{vmatrix}$	$= \begin{vmatrix} a_{11} & a_{12} & \cdots & a_{1n} \\ 0 & a_{22} & \cdots & a_{2n} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ 0 & a_{n2} & \cdots & a_{nn} \end{vmatrix}$
41	下6	$\begin{vmatrix} \mathbf{x}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{x}_i \\ \vdots \\ \mathbf{x}_n \end{vmatrix}$	$\begin{vmatrix} \mathbf{x}_1 \\ \vdots \\ \mathbf{x}_i \\ \vdots \\ \mathbf{x}_n \end{vmatrix} .$
42	下9	$A = [x_{ij}]$	$A = [a_{ij}]$

頁	行	誤	正
47	下 8	A を n 次行列 A について、	n 次行列 A について、
68	11	$\{v_1, \dots, v_n\}$ が存在する.	$\{v_1, \dots, v_m, v_{m+1}, \dots, v_n\}$ が存在する.
74	下 9	こうして、…… 座標変換行列という. 問 4.4 基底 $\{v_i\}_{i=1}^n$ の…… 逆行列であることを確かめよ.	(削除)
75	1	例 4.7 (座標変換行列の求め方)	例 4.7 (基底変換行列の求め方)
	4	(1) 基底 $\{v_1, v_2, v_3\}$ による座標から標準基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ による座標への座標変換行列 $B_{e,v}$ を求めると	(1) 標準基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ から基底 $\{v_1, v_2, v_3\}$ への基底変換行列 $B_{e,v}$ を求めると
	下 6	他の基底を…… このとき、 (2) 標準基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ による座標から基底 $\{w_1, w_2, w_3\}$ による座標への座標変換行列 $B_{w,e}$ を求めると	(2) 他の基底を…… このとき、基底 $\{w_1, w_2, w_3\}$ から標準基底 $\{e_1, e_2, e_3\}$ への基底変換行列 $B_{w,e}$ を求めると
76	1	(3) 基底 $\{v_1, v_2, v_3\}$ による座標から基底 $\{w_1, w_2, w_3\}$ による座標への座標変換行列 $B_{w,v}$ を求めると	(3) 基底 $\{w_1, w_2, w_3\}$ から基底 $\{v_1, v_2, v_3\}$ への基底変換行列 $B_{w,v}$ を求めると
132	下 7	ゆえに、矛盾です.	ゆえに、矛盾する.
139	下 4	直交行列 P が存在して $P^{-1}AP$ が対角行列になる.	A は直交行列によって対角化可能である.
169	8	問 4.4 $B_{v,w}B_{w,v} = B_{w,v}B_{v,w} = E_n$ であるので.	(削除)